

# 異 KOTOHANA 花 4

— 聖神官淫乳玩弄廻牢 —



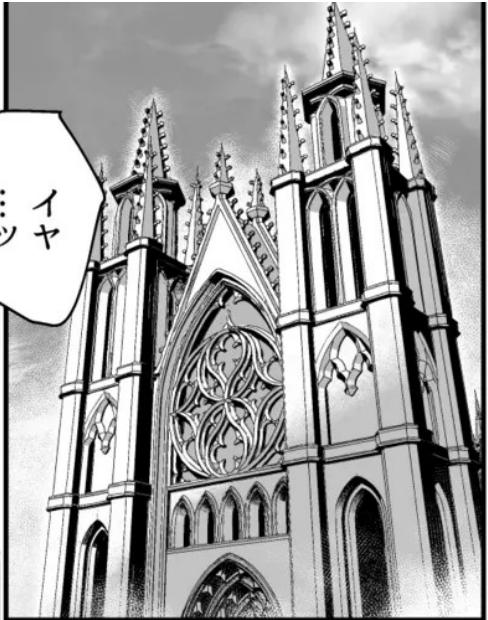
DOJIN  
R18  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止

おきえん



イヤ  
ッ

やめて  
くださいッ



こうして  
抱きすくめ  
られただけで

思い出さずには  
いられないの  
ではないか？



そんな  
こと…

無いと  
申すか？



では

この卑しい  
突起は  
なんじゃ？  
……っ



よく  
言った  
ものだ

先日  
あれほど  
乱れて  
おいて…

ナゲッ



それは

色々  
ありま  
したが…

元はと  
言えば



どうして  
こんなに乳首が  
弱くなって  
しまったの  
かのう？

わ…

私は…

私の乳首が  
こんなにも  
弱くなった  
理由…



快楽のために  
陰部に触れる  
ことは

聖教の  
教えに  
反する  
からで…

まあ  
思うに…



この御方  
どこまで  
知って…

知って  
おるとも

よおく…  
な…



聖教の戒律を  
律儀に守って  
いたからで  
あろう？

!?

何を…!?



覚えておるか？  
ワシが渡した  
あのロウソク

ロウソク  
…？

お前が  
教会を立つ  
以前の話  
じゃ

あれは  
たしか…

私が良く  
眠れる  
ようにと…



グフ… そうだ  
お前のその  
他人を信じ  
すぎるきらい

数年前

実に愛らしく  
そして何より  
御しやすい…

私が聖地巡礼  
の旅に出る  
以前のこと

はあ…

はあ…

もい…

はあ…



身体…

なんで…私

また…っ

熱い…

は…

は…



せっかく…

司祭様が  
くださった  
この…

キラ…



安眠用の  
キャンドルを



焚いて  
いるのに…



い…  
いけま  
せんっ



私…夜ごとに  
熱っぽくなつて  
しまつて…



でも…

私…  
もう…っ



不浄な所で  
自分を慰める  
なんて…

神竜様の  
御心に背く  
行為…

こうなつたら  
もうー

ゴツしか……

ゴツ……

ああ……

なんて  
いやらしい……

これが私の  
一部なんて……

ゴツ……

ゴツ……

フ……

ゴツ……



な…  
何…?

今…  
ピリッ  
って…



乳首って…  
こんなに敏感  
なんですか…?

それとも  
私がおかしい  
だけ…?



とりあえず  
やさしく…

服の生地を  
ゆつくり  
持ち上げて…

た…

たしかめ  
ないと…



これ...

どろ...

どろ...  
しょう...

好き...  
かも...



キ...

絹布の  
サラサラした  
感じが...

乳首の神経  
ひとつひとつを  
刺激して...

キモチ  
いい...

っ…  
摘まんで  
しまい  
ました…っ

キョッ

ひび

こんなの  
はしたない  
のに…っ

生地で擦るの  
とは違う  
芯まで響く  
感覚…

甘い快感と  
罪悪感…

だめなのに…  
どうにか  
なってしまい  
そうです…っ



そこからは  
ただ…

下半身の  
灼熱感から  
目を反らす  
ように…

夢中で  
快楽を  
求めて…

翌日も  
その翌日も  
両胸の突起で  
自分を慰め  
ました



お前の様な  
未通女が

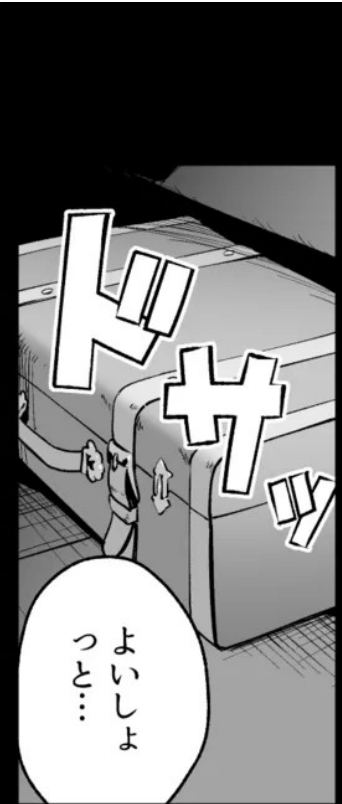
夜ごとに  
身も世もなく  
乱れる所を  
視られるの  
だからな  
…なっ



それが司祭様の  
差し金だなんて  
疑いなど  
一切持たずに…

グフツ  
あれは愉快  
じゃったのう







街外れに  
野暮用が  
あつての

ああ

すまんが  
ちと同乗  
させて  
くれんか



さつきまで  
いらつしやい  
ませんでした  
よね？

なんで  
馬車の  
中に…

方法…？

司祭様も  
同行される  
のですか？



……

はい



おかしなこと  
違和感は  
ない

じゃろ？



ええ…  
ええ

この馬車の  
行き先には  
当分めぼしい  
施設は…

ただ

もちろん  
です

何も



帽子と  
ケープを  
預かるう

あ…  
ありがとう  
ございます

むっ  
…？



…そう  
ですよ  
ね

道中に司祭様  
のご用事…？  
があるなら

相乗りした方  
が効率的なの  
は確かです

グフフ  
では  
参ろうか

出せ

はい





ここに  
瘴気を感じる  
のう…?

な…何を  
言…

クニ

クニ



し…  
しし司祭  
様…?!?

びく

びく

キョム

びく

な…な  
何を…



ん?何か  
おかしな事を  
行…  
かの?

えっ

えあ…



仕方ある  
まい…

ここで  
簡易的な  
儀式を  
執…

びく



考えて  
みれば…

自分に負けて  
不浄な行いに  
使…  
なのだから…

いえ…

良くないもの  
が溜…  
のかも…



それ  
膝の上に  
来なさい

さあ…何か  
言うべきでは  
ないかの？

ああつ

司祭様…つ

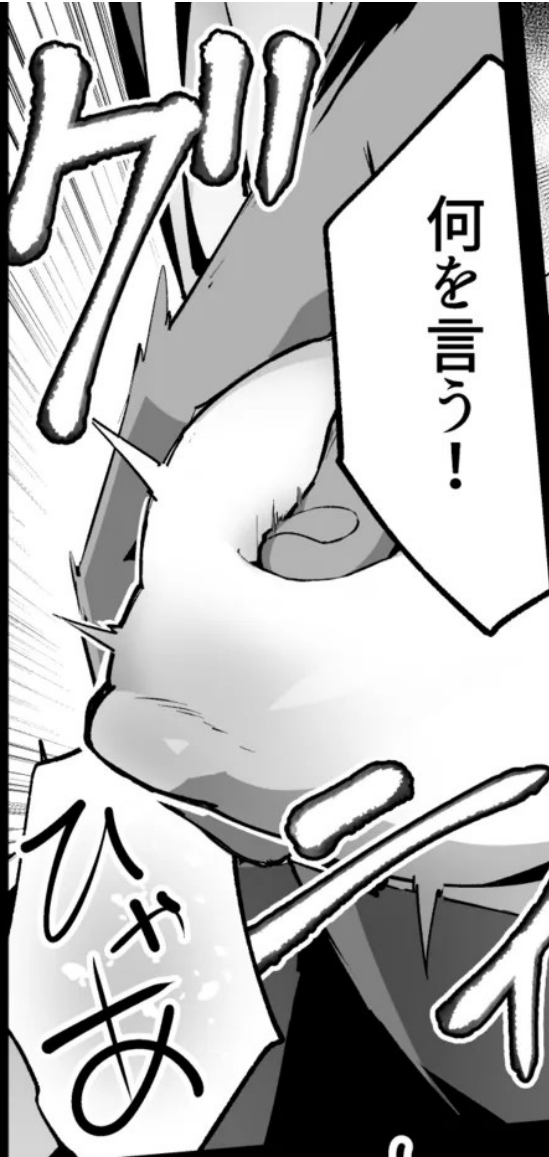
え…つ

あつ…



よ…  
よろしく

おねがい  
しま



何を言うう!!



司祭様...

もっつ...  
やわっつ...



あ、あれ...

クワッ

クワッ

クワッ



ああっ  
そんな

乱暴に  
してはあ...





ホッホ：  
そう遠慮  
するな

そうして  
儀式が  
終われば

いくらでも  
快樂を受け  
入れるがよい

瘴気は祓われ  
お前の旅路は  
祝福される



そして  
この馬車で  
起きた事は  
すべて忘れる

これは  
だけは

ただし

覚えて  
おきなさい

巡礼の  
途中

順路を少し  
外れた所に  
小さな村が  
ある

お前が助けて  
やりなさい

ああ

旅先でも毎日  
乳首オナニー  
を欠かさぬ  
ようにの

それ  
から…

魔物の巢に  
狙われ困って  
おるようじゃ



ガフフ…  
そうじゃ

もーもっと

純潔  
だけは

あの方のために  
残しておかねば  
ならなかった  
がのう…



ああ…  
そんな…

では  
何もかも  
最初から  
…？



やめて  
くださいっ



言葉を  
植え付け  
警戒心を  
薄れさせ  
記憶さえ  
封じて  
しまう…

ウム

これで  
わかったで  
あろう？

これ以上  
ワシに  
逆らった  
ところで…



馬車の時のようにこの怒りも消しますか…!?

ま…  
まてっ

どのような術か存じませんが強すぎる感情を消すのは難しいはずです…!



もう許せません…っ

ずっと騙して弄んで…

こんなコトのために村の人達まで…!

わっ



そんな…



すべて司教様に報告しますっ

しかるべき処罰を…  
受けてください…っ!



ワシはただお前が可愛くて…

やめてっ



やはり小娘よの



開かない…?

鍵はかかって



たのむ…っ

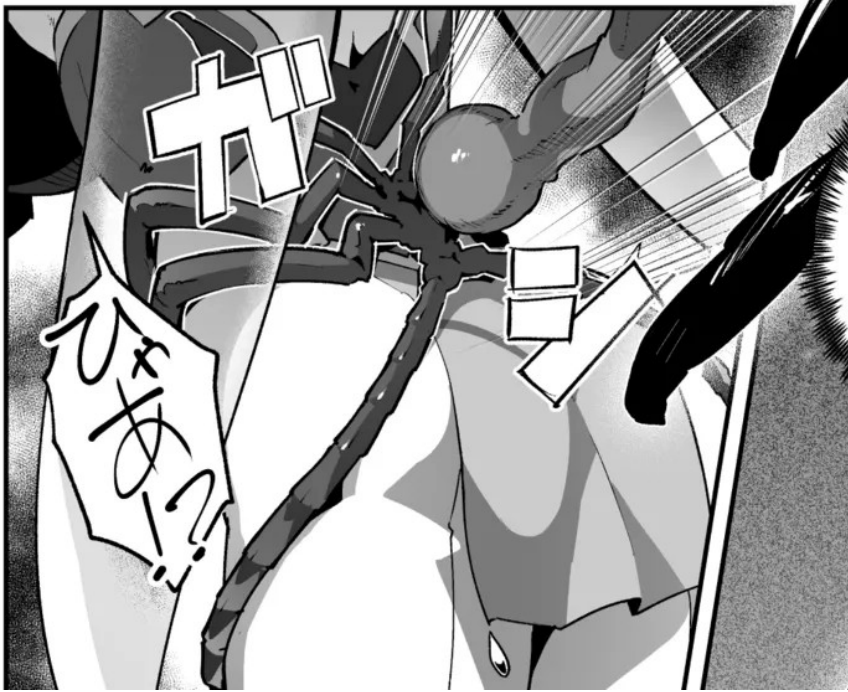
失礼しま…

それだけは…

…?









何...?  
虫みたいな  
ものが



淫紋に  
流れ込んだ  
魔力はすべて  
淫気に変換  
される

耐えられる  
ものでは  
あるまい

そして

ワシが作った  
この空間から  
供給される  
魔力は

人ひとりの  
許容量を  
はるかに  
超えておる

あ……  
頭

おかしく  
なる……っ

次は――

ゲフッ……  
良い眺め  
じゃの



お前の  
好物を

ズッ

ズッ

与えて  
やろう♡

たま...

ズッ

ズッ

ズッ



私の

弱点

ふ...

ふたつの  
触手...

淫紋に発情  
させられた  
乳首が勝手に...

だめ  
...っ

狙って  
ます...っ

だめ  
なのに...

触手を  
お迎え  
しちゃって  
ます...っ

ひく.

ひく.

ひく.

ドクッ

ドクッ





な…

はー？

何…？

はー…

!?

がまん…っ  
おっぱい  
がまん…っ  
キッパ  
キッパ



だめ…っ

キッパ

キッパ

キッパ

嬉しく  
なつちや…

ガク

ガク



コオオオオ…

分離  
した…!?



触手に

魔法陣  
が…

!?



な

分離した  
触手の  
先端が

何…!?

魔法陣の力で  
回転してる  
の…!?



こ…  
こんなの

こんなの…っ



…はじめて  
♡

こんなの

これ…

耐えられない  
よお……っ♡







負けちゃい  
ました…♡

乳首も

私…

また…

おまんこ  
も…♡

回転触手が  
両乳首執拗に  
磨き上げて…♡

腰ツ  
くねらせる  
と…♡

膣前庭…  
クリトリス…  
絶え間なく  
叩いてきて

当たり方が  
変わって…

下品な  
腰ふり

私：  
全身で

止まりま  
せん…♡

…っ♡  
屈服宣言

屈服  
アクメツ

しちやって  
ますっ♡





お前の  
その乳首は

誰のおかげで  
そんなに  
立派に成長  
したんじゃ？



聞き方を  
変えようか



ほし...

私の...

ために...

くださ...

もらえる...

司祭様  
が...



答えれば...



屈すれば...

それは...

服従  
すれば...



あっ…



来ちゃいます…ッ





いつも  
見守って  
くださり

旅の行き先を  
示してくださり

本当の私  
を教えて  
くださり

ありがとう  
ございます

ありがとう  
ございます

ありがとう  
ございます



あなた  
に  
会えたから  
司祭様

今の私  
が  
います



あなた  
に  
会えたから  
ご主人様

この快楽を  
知ることが  
できました



ああ……  
すべては

あなた  
に  
会えた  
から  
神竜様











## 奥付

著者：おきえん 発行：サークル『OXIDE\_Lab』  
発行日：2025年 8月17日

## 連絡先

Mail :  
OXIDEENGINE@gmail.com

Pixiv :  
72390985 (成人向け)  
37929 (全年齢)

X :  
@OXIDE\_rated (成人向け)  
@OXIDEENGINE (全年齢)

コミケ WebカタログID :  
19011430



※本作はフィクションであり、性犯罪を肯定あるいは助長する目的で制作されたものではありません。  
※本作の無断転載を禁止します。



# OXIDE\_Lab

## 異花4 -聖神官淫乳玩弄廻牢-

聖なる神竜に仕えるうら若き聖神官。  
修行の一環として巡礼の旅に出た彼女は  
その道中、魔族の罠にかかり魔物の巢に囚われてしまう。

執拗な乳首開発、膨乳改造、そして……淫紋。  
果てなき快樂調教の末に、突如として訪れた解放——  
騎士団に助け出された彼女は、人界への生還を果たしたのだ。

——だが、帰郷した平穩なはずの教会で彼女を待っていたのは、  
信じていた司祭による淫辱、悪辣な支配の続きだった。

過去の記憶を辿り、異形の空間に囚われた神官を、  
深遠の魔悦と尽させぬ責めが待ち受ける。

これは、過去と現在が絡み合う、終わりなき悦虐の牢——  
《廻牢》に墮ちゆく、聖女の物語。

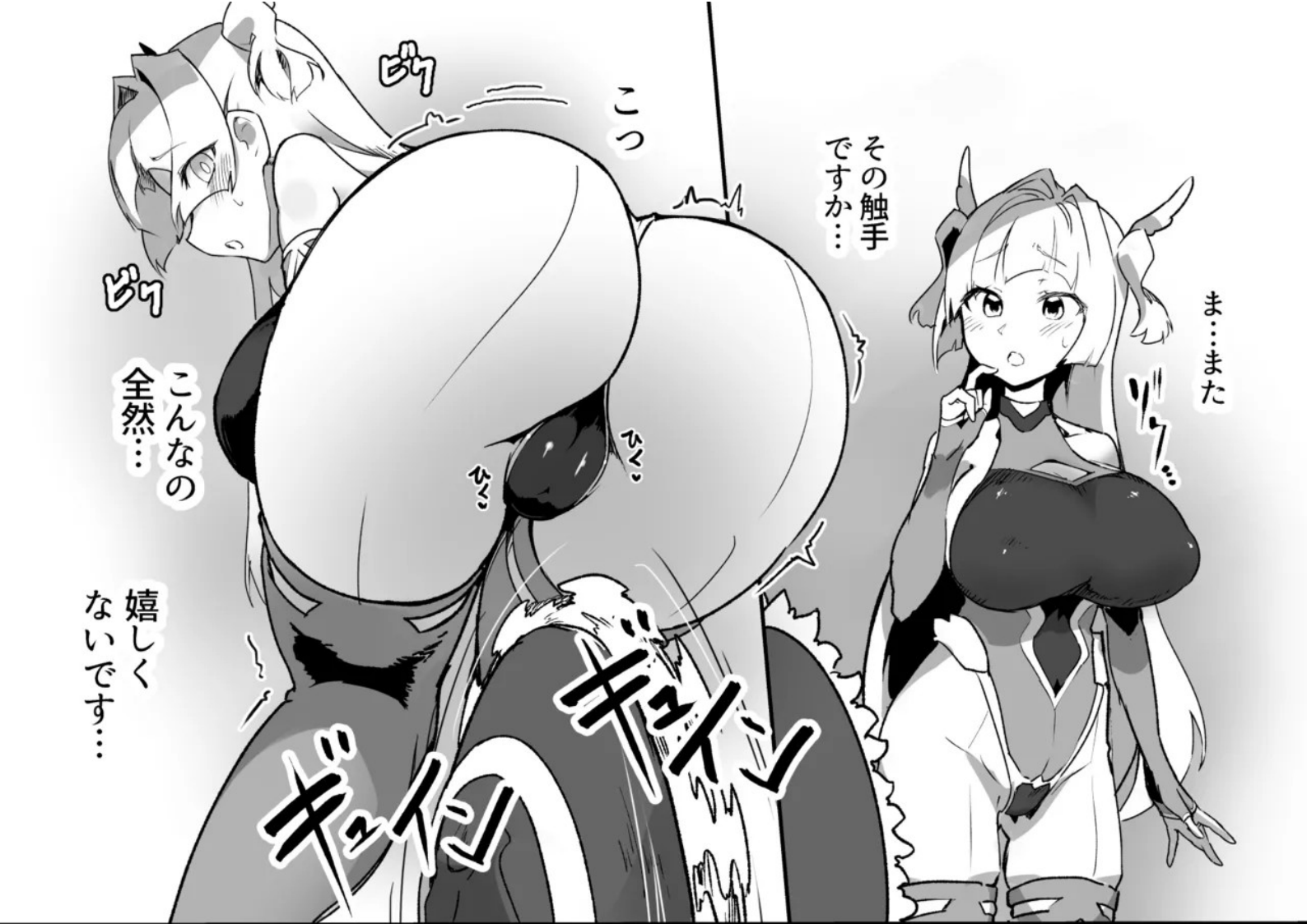
# 異 KOTOHANA 花

# 4 Extend

-VS丸ノコ触手-

DOJIN  
R18  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止

おきえん





おまんこ

ガク

おまんこ  
ぞりゆ  
ぞりゆ  
ぞりゆ…っ

ガク

ビュン

じゅんお…っ

ガク

キル

はああ…っ

びくっ

だめ

びくっ

だめ

びくっ

これだめ  
ですっ

びくっ

ギョイ

もう負け  
てるのっ

ガク

イツでるッ  
イツですッ

ガク

おまんこ  
にがして  
もらえませんか

びくっ

びくっ

ぽし

びくっ

オッオッ  
オッオッ  
ウホホッ

びく  
しゅんじつですっ  
イキっぱなしっ  
イキまくりっ

ギョ  
リリ  
リ

ぶし  
ああ

ぼるん

ぼるん

お乳揺らして  
腰へこタンスミ

アッ  
アッ

こんなの無様すぎっ  
無様アクメキマますっ

シオッ  
イクウウウッ

ギョ  
イイ

ギョ

これだめえっ

アッ  
アッ

強制開脚おまんこっ  
無防備すぎますっ

アッ

アッ



ぜんぶぜんぶ  
じやいじやいおまんこ

びん  
びん

おつ  
おまんこ触手で  
広げちゃだめです

んおおつ?  
クンシメオオシ

びん  
びん  
びん



はあ...

はあ...

おまんこ  
いじめる...

うん

あいがこう  
マヤいました...



びん

くん

イギますッ  
イクのッ  
オオッ  
オッ

オオオオオオ  
オオオオオオ